

## 議長総括(骨子)

1. 仙台市, 松島町, 太平洋諸島センター(PIC)及び太平洋諸島フォーラム(PIF)事務局に対する謝意を表明。
2. 日本と太平洋島嶼国とが自然かつ重要なパートナーであり, 歴史と協力に基づくものと確認。
3. マーシャル諸島でのPIF総会の成功を歓迎し, パラオでの次回総会への協力を確認。
4. PIFと太平洋・島サミット(PALM)プロセスとの調整の重要性を再確認。太平洋を共有する島嶼国として, PIFへの著しく一層深く一層広い関与を再確認し, 日本の加盟の選択肢を含め, 更に検討されることを勧告。PIFと地域の他の枠組みの効果的な調整の重要性を強調。
5. 日本は, PALM6で今後3年間で提供するため最大限努力すると表明した5億米ドル中, 約4.45億米ドルを供与した旨報告し, 太平洋島嶼国はこれを評価。
6. キズナ・プロジェクト及びJENESYS2. 0を含む人的交流促進の重要性を確認。
7. パプアニューギニアとの間で, 11月25日から短期滞在者に対する数次入国査証を導入する旨公表。
8. PIF総会が9月に採択した「気候へのリーダーシップに関するマジュロ宣言」への日本の検討を歓迎。国連気候変動枠組条約締約国会議に向けて, 緊密に協力することを確認。
9. 太平洋の価値を再確認しつつ, リオ+20の海洋に関する成果を想起し, 持続可能な太平洋の確保に向けた協力を承認。これらに対する日本の支援を歓迎。
10. フィジーの新憲法制定を歓迎。2014年の選挙の成功と地域的枠組みへの復帰の重要性を再確認。
11. 太平洋環境共同体(PEC)基金の進捗を確認。太平洋島嶼国側は, 基金の補充と対象分野の拡大を要望。
12. 日NZによる津波危機管理ワークショップ及びサモアにおける日本の津波警戒メカニズムに係る専門家会合を高く評価。2015年3月の第3回国連防災世界会議に向けた防災協力の重要性を認識。
13. 日本との貿易・投資促進のための枠組み及びPICの活用に向けた関与を再強化。日本による若手行政官レベルの地域の貿易投資促進に関するワークショップ開催を高く評価。
14. 太平洋協会の専門家によって作成された離島における経済発展促進に係る研究を称賛。2014年前半にトンガで開催予定の貿易促進シンポジウム開催を歓迎。
15. 観光の重要性を再確認し, 2014年に太平洋諸島観光大臣会合を開催すると日本の提案を歓迎。ミクロネシア連邦のナン・マドール遺跡を含む地域の遺跡の世界遺産登録への支持を確認。
16. 不発弾を含む地域共通の懸念事項に取り組む意図を強調。
17. 民主主義, 人権, 法の支配といった共通の価値を再確認し, 海洋国家として, 国連海洋法条約を含む, 国際法に基づく紛争等の平和的解決を含む海洋秩序へのコミットを再確認。
18. 北朝鮮の核・ミサイル開発に対する深い憂慮を表明し, 拉致問題を含む人道上の問題に取り組むよう促す。
19. あらゆる形態の汚染から太平洋の安全を確保し, 情報を共有することに同意。
20. 軍縮, 軍備管理, 不拡散, 武器貿易条約(ATT)に関する見解を共有。
21. 国連安保理改革に対するコミットメントを確認し, 日本の常任理事国入りへの支持を確認。
22. 小島嶼開発途上国(SIDS)の優先課題を含むポスト2015年開発目標に対する協力につき一致。
23. 2020年オリンピック・パラリンピック開催都市への東京の選出を祝福。
24. 第7回太平洋・島サミットを, 2015年5月にいわき市で開催する旨公表(名称:「いわき島サミット2015」)。